

【評価実施概要】

事業所番号	170504047		
法人名	有限会社 ケイアンドケイ		
事業所名	グループホーム いちえ		
所在地	札幌市清田区美しが丘5条5丁目9番27号 (電話)011-881-3521		
評価機関名	NPO法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	2008年3月19日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(平成20年2月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	1,8人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての 1 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 90,000 円)	有りの場合 償却の有無	ⓐ 入居時一括償却	
食材料費	朝食	400 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,400 円			

(4) 利用者の概要( 2月 1日現在 )

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	2名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	4名		
要介護5	2名	要支援2			
年齢	平均 79 歳	最低	48 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	クラーク病院 にひら歯科 紺野整形外科クリニック
---------	--------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

潇洒な住宅が建ち並ぶ郊外の新興住宅地に、周囲と違和感なく建っている。ホーム敷地は広く、菜園・花畑・ウッドデッキがあり、入居者の憩いの場にもなっている。ユニット内はリビング中央で全居室が見渡せる設計になっておりトイレは羞恥心に配慮し、居間から少し離れた場所にある。風呂場は広く車いすでも十分なスペースがあり、随所に手すりが付けられ機能的で介護しやすい作りになっている。スタッフは皆明るく穏やかで、笑顔を絶やさず接している。運営理念を念頭に利用者の思いを大切に、共に楽しみ・喜び・支え合い、一日一日を自由にゆったりと過ごしており、今後期待されるホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回改善課題の研修は、月に一度開催される系列グループホームでの勉強会に参加。また当ホームでの研修会には、他グループホーム職員が参加し共に研鑽しスキルアップを図り、ケアの充実に役立っている。年間研修計画書を作成し外部研修にも積極的に参加しているため、改善されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員と共に行い、管理者がまとめ仕上げた。グループホームサービス評価の意義や目的を全職員で共有し、評価結果を基にサービスの質の向上に向けて努力している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	定期的に行われている運営推進会議では、家族代表・町内会長・老人クラブ会長・地域包括支援センター職員・ホーム管理者の他、協力病院医師等も参加し地域密着型ホームとしての活発な意見交換が行われサービスの質の向上と、事業所の運営に活かされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ホーム便り『いちご』を発行。家族には月に一度、生活状況を詳細に手書きした手紙を近況写真と共に送付しており、好評を得ている。体調不良等の場合はその都度電話で報告している。金銭出納帳のコピーと領収書原本を付け、確認のサインを貰っている。各ユニット入口に意見箱の設置。来所時の会話の中から希望・要望・意見をくみ取り、家族の思いを受け入れケアに反映するようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入。町内会の清掃・花壇作り・夏祭り・盆踊りに楽しんで参加し、行事等で地域と接点を持つ取り組みをしている。毎日の散歩や買い物等、外出時の挨拶などで地域の人たちと積極的に交流することに努めている。

## 評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し、地域との関係強化と個人の尊厳を保ち共に生活する理念を掲出している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は忘れる事がないようにミーティング・カンファレンス会議等で確認し、話し合いの場を持ち日々のケアに生かすよう努力している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入。町内会の清掃・花壇作り・夏祭り・盆踊りに楽しんで参加し、行事等で地域と接点を持つ取り組みをしている。 毎日の散歩や買い物、外出時の挨拶などで地域の人たちと積極的に交流することに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員と共に行い、管理者がまとめ仕上げた。サービス評価の意義や目的を全職員で共有し、評価結果を基にサービスの質の向上に向けて努力している。また運営推進会議でも話し合われ改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に行われている運営推進会議では、家族代表・町内会長・老人クラブ会長・地域包括支援センター職員・ホーム管理者の他、協力病院医師等も参加し地域密着型ホームとしての活発な意見交換が行われ、サービスの質の向上と事業所の運営に活かされている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>FAXで届く参考資料を活用し、ホーム独自で勉強会を開催し、市主催の研修会や会議に参加し研鑽している。また新しい情報も日々のケアに役立て、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便り『いちご』を発行。家族には月に一度、生活状況を詳細に手書きした手紙を近況写真と共に送付しており、好評を得ている。体調不良等の場合はその都度電話で報告している。金銭出納帳のコピーと領収書原本を付け、確認のサインを貰っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>各ユニット入口に意見箱の設置。来所時の会話の中から希望・要望・意見をくみ取り、家族の思いを受け入れる様にし、ケアに反映するようにしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は最小限にし、利用者と職員の馴染みの関係を大切にしている。退職等その時々状況に合わせて納得のいく説明をし、ダメージを与えない取り組みにがなされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	1ヶ月に一度開催される系列グループホームでの勉強会に参加。また当ホームの研修会には系列グループホーム職員が参加し共に研鑽しスキルアップを図り、ケアの充実に役立っている。年間研修計画書を作成し、外部研修にも積極的に参加出来るよう取り組んでいる。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市グループホーム協議会・区グループホーム連絡会などの研修会に参加し、ネットワーク作りをしている。お互いに情報を共有し、交流する機会を持ちサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入院中の入所希望者には何度か病院に出向き、コミュニケーションを図り、また見学・体験入居等で徐々に馴染めるよう工夫し、安心感を持ってから入居する様配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活する中でコミュニケーションを取りながら、人生の先輩として得意分野で力を発揮してもらうための場面設定に配慮・工夫をしている。常に尊敬の念を忘れずに感謝の気持ちを持つよう心掛け、共に学び支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の様子や会話から本人の思い・希望をくみ取り、実現にむけて取り組み、本人の希望に沿った支援が行われるように配慮している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりの中から、より良く暮らすためのニーズや希望を汲み取っている。また家族からも情報・要望を聞き、カンファレンスや情報交換などで検討し、意見を反映した介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎日の状態を記録し、毎月のカンファレンス時に職員で話し合い、一人ひとりの状態に即したケアプランを作成している。 変化が生じた場合は随時見直しを図り、実情に即した介護計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ホームの季節行事やドライブ・町内会・地域の行事の参加、日常的な散歩・買い物・通院時の送迎等、事業所の多機能性を生かし柔軟な対応をしている。また家族宿泊部屋を用意し、長期間安心して入居者の側にいられる体制を整え支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期健診が二か月に1回。提携病院の医師の往診が週2回、訪問看護が週一回。緊急時には医師・看護師とは、24時間連絡が付く体制が出来ている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については、かかりつけ医や家族と共に話し合いを繰り返し、対応についての確認をとっている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>人生の先輩として尊敬の気持ちを忘れずに接している。利用者本人のプライドや羞恥心を大切にし、トイレ誘導等プライバシーに関わる事は周囲に配慮しながら行っている。また、記録等の個人情報は事務所で厳重に管理している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>毎日の決まり事はなく、基本的には自由に過ごしている。本人のその日・その時にしたいことをし、散歩・買い物・入浴等も希望に合わせて支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と共に調理・盛り付け・配膳・後片付けをし、大テーブルを囲み大家族のように和やかに食事をしている。三度の食事に関する一連の流れを、一日の大切な活動の一つと考え、お互いに楽しみながら支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員が一方的に決めず、入浴したい日・希望する時間に入浴している。好みの入浴剤を使う等の配慮もしている。入浴拒否の方には言葉掛けや対応に工夫し、さりげなく入浴支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備・調理・配膳・後片付け・掃除・菜園・花壇作り等利用者の経験・知識を発揮する場面作り設定している。ドライブ外出や地域行事参加等の楽しみ事も、本人と相談し参加している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物・散歩・理・美容室利用等一人ひとりのその日の体調に考慮し、希望に添った外出支援をしている。また日々の食材を買いに行く時にも同行し、自然に戸外に出掛けられる機会を作っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	カギをかけないケアの大切さを理解し、日中は鍵を掛けていない。外が気になる入居者には常に気配り目配りで見守り、自由な暮らしを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署との避難訓練は計画中。また緊急時の連絡網は作成済み。職員は万が一の時の為に人工呼吸等の救急法を心得ている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分摂取量を記録し、料理本を参考にカロリー・栄養バランス・塩分摂取に気を配り、食欲が出るよう見た目にも美しく盛り付けしているし、咀嚼・嚥下状況あわせた食事を提供している。</p>		<p>栄養バランス等については専門家によるチェック体制がないので、一度管理栄養士に、メニュー点検をしてもらおうよう希望する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間の壁には利用者の作品や行事写真が飾られ、トイレ・浴室・廊下には手すりが効果的に配置されている。日常生活の匂いや音（食事作りや掃除）で五感を刺激し、温度・湿度に気を配り快適な居住空間を作っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はカーテン・電灯・引き戸等を部屋ごとに変え、各自が好みの表札を掛け、部屋間違いが少なくなるよう配慮している。なじみの家具や生活用品・趣味道具等を家庭から持参し、家族の写真や自作の作品を飾り、個々の状態に合わせ、心地良く安心して過ごせる様工夫している。</p>		

 は、重点項目。